

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校

評価実施日

平成28年2月24日(水) 14:00～15:30

全日制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かる授業」については、教員と生徒の評価に差がある。毎時間の授業ごとに学習課題を提示したり、板書を工夫するなど、どの生徒にも分かる授業展開の工夫に努められたい。</li> <li>・授業公開を年間3回実施していることはおおいに評価できる。今後とも、教員相互に授業を見せ合う機会を増やして欲しい。</li> <li>・グローバル社会の進展に鑑み、英語検定の取得について力を入れて欲しい。</li> </ul> <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松商生のマナーはすばらしい。「おはよう」のあいさつの声に感心させられる。</li> <li>・登下校の際に自転車の危険な運転を見ることがあるので、一層の指導をお願いしたい。</li> <li>・トイレのスリッパや自転車の整頓はおおむねできているが、すべての箇所ですべてに整頓できるようさらに指導を重ねられたい。</li> </ul> <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学、就職ともにほぼ100%生徒の進路希望を実現できていることは、先生方の指導の成果であると評価できる。</li> </ul> <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープウェイ商店街の「門前まつり」における松商生の活躍はすばらしい。今後は、チラシを生徒が作成したり、授業の成果を発表するなど、学生主体のイベントにしたいと考えている。</li> <li>・高松商業の野球部が神宮大会に優勝したが、松山商業の活躍にもおおいに期待したい。</li> </ul> <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高大接続については、大学側の変化に適確に対応できるよう高校としての方向性を模索していく必要がある。</li> <li>・manifestoの項目は具体的でわかりやすいが、職業高校としての特色を出した評価項目を検討されたい。</li> <li>・学校評価アンケート調査の結果については、過年度との比較や生徒・保護者・教員の評価の差に注目して、さらに分析を進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から導入されたタブレットや電子黒板等のICT機器の効果的な活用について研究を重ね、授業に積極的に取り入れる。</li> <li>・授業公開週間について、保護者や近隣の学校に積極的に呼びかけるとともに、校内の教員同士の積極的な授業参観を促す。</li> <li>・学年集会や交通安全教室等を活用するとともに交通委員によるマナーアップクラブの活動を一層充実させることにより交通マナーやルールに対する生徒の意識の高揚を図る。</li> <li>・社会人講話や現場実習等のキャリア教育をさらに充実させ、生徒の希望する進路の実現を図る。</li> <li>・学校行事について、生徒たちがさらに主体的に活動できるよう工夫するとともに、一層の地域社会との連携を進める。</li> <li>・教育情勢の変化に適切かつ柔軟に対応できるよう関係分掌を中心に学校全体で研究を進める。</li> </ul>

定時制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の目標に応じたよくわかる授業が行われている。各種検定試験合格に向けて、全校体制での粘り強い指導を続けて欲しい。</li> <li>・学校行事等で生徒主体の機会を増やし、能動的な活動を体験できるようにしてもらいたい。</li> <li>・交通安全指導を通して、社会におけるマナーやルールに対する生徒の意識向上を図ってもらいたい。</li> <li>・家庭との連携密にし、生徒の健康状態の把握に努めるとともに、進路についての情報共有に十分気を配って欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の目標達成に向け、日々努力を重ねることの大切さを理解させ、資格取得の具体的な学習計画を立てるなどの指導をする。</li> <li>・積極的に参加し、達成感を得られるような行事の運営を図る。</li> <li>・最も身近な交通ルールの遵守を徹底することにより、社会規範についての意識を高めていく。</li> <li>・生徒の進路実現に向けて、三者の共通理解が図れるよう、家庭との更なる連携強化を進めていく。</li> </ul>